

<発達心理学専攻・学部共通科目> 履修系統図

【DP④】胎児期から老年期にいたる生涯発達の標準形と多様性を、生物学的・社会文化的な背景とともに理解している。すなわち人間は遺伝学的・生得的に規定されると同時に、どのような環境で育ち大人になっていくかという社会文化的文脈によっても大きく左右されるという生涯発達心理学の考え方を身につけ、人間を発達の視点から捉えることができる。

【DP⑤】人生のさまざまな時期に遭遇する発達の課題や危機を理解し、発達障害や精神疾患等の臨床的な問題とそれらへの対応に関する専門知識を、人々の心の健康の増進を図るためのスキルとして活かすことができる。

【DP⑥】実験や調査、観察などの心理学の基本的な方法を身に付けるとともに、それを使って現代社会の発達心理学的課題を積極的に見出して探求することができる。

